



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月8日

上場会社名 株式会社トーアミ
 コード番号 5973 URL <http://www.toami.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北川芳仁
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 服部利昭
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日 配当支払開始予定日 平成29年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 072-876-1121

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	5,791	11.0	127		63		143	
29年3月期第2四半期	5,218	22.3	64	64.9	104	47.0	110	70.0

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 81百万円 (%) 29年3月期第2四半期 80百万円 (140.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	23.34	
29年3月期第2四半期	17.90	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	15,366	10,876	70.8
29年3月期	14,606	11,023	75.5

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 10,876百万円 29年3月期 11,023百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		7.50		12.50	20.00
30年3月期		7.50			
30年3月期(予想)				7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

29年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 7円50銭 記念配当 5円00銭

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,500	11.7	50	79.4	140	60.2	30	91.2	4.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	6,400,000 株	29年3月期	6,400,000 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	229,850 株	29年3月期	248,950 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	6,156,582 株	29年3月期2Q	6,151,050 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本決算に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的な景気拡大を受け、輸出及び生産の増加による省力化などへの設備投資も順調に推移したことから、企業収益及び雇用環境も改善し堅調さを維持いたしました。

一方、世界経済の面においては、北朝鮮情勢の緊迫化や米国政府の政策運営の停滞、さらには中国の景気持続への懸念などの不確定要素が散在し、また国内においても人手不足など経済成長にブレーキをかける状況が深刻化していることから、景気の先行きに不透明感を残すこととなりました。

当社グループの主な事業分野である建設・土木業界におきましては、オリンピック関連の建設投資及び好調な企業収益を背景とした民間非住宅建設投資は堅調であり、政府の震災復興関連事業など積極的な建設投資も継続したため、建設業全体としては順調に推移いたしました。

しかしながら、当社製品を主に使用する鉄筋コンクリート造の建築物に関しましては、建築構造の多様化が進み、短納期、経済性などの面から鉄骨造へのシフトも見られ、依然として、当社を取り巻く市場環境は厳しい状況となりました。

このような環境において当社グループは、高品質と効率的な現場供給体制とを武器に小口受注をも積極的に取込み、販売の増強に努めました結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、57億91百万円（前年同四半期比11.0%増）となりました。

損益面におきましては、前期末から続く材料価格の高騰にもかかわらず、価格競争などの影響により販売価格の値上げが進まず、そのために原価率が上昇し、営業損失は1億27百万円（前年同四半期は営業利益64百万円）となりました。また、為替差益等を計上したことにより、経常損失は63百万円（前年同四半期は経常利益1億4百万円）となりましたが、繰延税金資産の取崩しなどにより、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億43百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益1億10百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、153億66百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億59百万円増加しました。主な要因としましては、現金及び預金が2億56百万円、受取手形及び売掛金が1億12百万円、原材料及び貯蔵品が2億40百万円、建設仮勘定が73百万円、投資有価証券が58百万円それぞれ増加したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、44億89百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億7百万円増加しました。主な要因としましては、支払手形及び買掛金が5億54百万円、短期借入金が2億49百万円それぞれ増加したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、108億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億47百万円減少しました。これにより、自己資本比率は70.8%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は、28億23百万円となり、前年同四半期末に比べ4億88百万円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、2億37百万円の獲得（前年同四半期比54百万円の減少）となりました。主な要因としましては、税金等調整前四半期純損失61百万円、減価償却費88百万円を計上し、たな卸資産が3億20百万円、仕入債務が5億54百万円それぞれ増加したことによるものであります。

当第2四半期連結累計期間における「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、1億53百万円の支出（前年同四半期比49百万円の増加）となりました。主な要因としましては、有形固定資産の取得による支出1億34百万円、関係会社貸付けによる支出28百万円によるものであります。

当第2四半期連結累計期間における「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、1億71百万円の獲得（前年同四半期は1億40百万円の支出）となりました。主な要因としましては、短期借入金の純増額2億49百万円と配当金の支払額76百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月10日に公表しました平成30年3月期の連結業績予想を本日修正しております。当社グループといたしましては、このような環境のもと、より一層の売上高増加とコスト削減の実施による収益の確保に努めてまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,566,511	2,823,461
受取手形及び売掛金	3,527,786	3,640,551
電子記録債権	524,410	446,909
商品及び製品	466,540	503,405
仕掛品	218,754	261,392
原材料及び貯蔵品	1,036,347	1,277,215
繰延税金資産	84,271	44,451
その他	50,354	56,524
貸倒引当金	△1,755	△1,854
流動資産合計	8,473,220	9,052,058
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	832,495	846,122
機械装置及び運搬具(純額)	374,819	375,080
土地	3,746,531	3,746,531
建設仮勘定	7,479	80,726
その他(純額)	13,982	18,432
有形固定資産合計	4,975,308	5,066,893
無形固定資産		
その他	53,675	48,137
無形固定資産合計	53,675	48,137
投資その他の資産		
投資有価証券	633,410	691,421
関係会社長期貸付金	77,130	100,987
関係会社出資金	182,432	182,432
退職給付に係る資産	136,362	151,588
その他	80,584	78,340
貸倒引当金	△5,939	△5,835
投資その他の資産合計	1,103,980	1,198,935
固定資産合計	6,132,965	6,313,966
資産合計	14,606,186	15,366,024

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,280,083	1,834,746
短期借入金	1,150,000	1,399,000
リース債務	1,121	1,121
未払法人税等	50,954	19,512
賞与引当金	88,122	81,297
その他	372,227	447,162
流動負債合計	2,942,509	3,782,840
固定負債		
リース債務	2,242	1,682
繰延税金負債	258,221	316,702
役員退職慰労引当金	314,360	9,225
退職給付に係る負債	48,674	54,379
その他	16,328	325,091
固定負債合計	639,827	707,080
負債合計	3,582,336	4,489,921
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,290,800	1,290,800
資本剰余金	1,207,310	1,209,639
利益剰余金	8,486,435	8,265,852
自己株式	△112,787	△104,134
株主資本合計	10,871,757	10,662,157
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	226,816	266,567
繰延ヘッジ損益	837	17,098
退職給付に係る調整累計額	△75,562	△69,719
その他の包括利益累計額合計	152,091	213,945
純資産合計	11,023,849	10,876,103
負債純資産合計	14,606,186	15,366,024

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	5,218,142	5,791,262
売上原価	4,161,310	4,875,009
売上総利益	1,056,832	916,252
販売費及び一般管理費	992,556	1,043,807
営業利益又は営業損失(△)	64,275	△127,554
営業外収益		
受取利息	647	1,012
受取配当金	5,126	6,903
為替差益	24,618	45,646
受取賃貸料	9,408	10,881
その他	4,625	4,757
営業外収益合計	44,426	69,202
営業外費用		
支払利息	2,881	3,296
売上割引	991	1,256
その他	597	635
営業外費用合計	4,470	5,189
経常利益又は経常損失(△)	104,231	△63,541
特別利益		
固定資産売却益	403	4,147
特別利益合計	403	4,147
特別損失		
固定資産除却損	—	1,901
特別損失合計	—	1,901
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	104,634	△61,295
法人税、住民税及び事業税	20,118	11,477
法人税等調整額	△25,616	70,922
法人税等合計	△5,498	82,399
四半期純利益又は四半期純損失(△)	110,133	△143,695
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	110,133	△143,695

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	110,133	△143,695
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△43,467	39,750
繰延ヘッジ損益	7,200	16,260
退職給付に係る調整額	7,025	5,842
その他の包括利益合計	△29,241	61,854
四半期包括利益	80,891	△81,840
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	80,891	△81,840
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	104,634	△61,295
減価償却費	93,413	88,121
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△290	△4
賞与引当金の増減額(△は減少)	△7,565	△6,824
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	4,305	5,705
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△5,291	△6,805
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4,838	△305,135
受取利息及び受取配当金	△5,773	△7,915
支払利息	2,881	3,296
売上債権の増減額(△は増加)	893,846	△35,264
たな卸資産の増減額(△は増加)	△547,031	△320,371
仕入債務の増減額(△は減少)	△75,865	554,662
その他の固定負債の増減額(△は減少)	418	308,762
その他	△136,339	55,845
小計	326,180	272,776
利息及び配当金の受取額	5,769	8,230
利息の支払額	△2,859	△3,362
法人税等の支払額	△37,018	△40,454
営業活動によるキャッシュ・フロー	292,071	237,189
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,971	△134,266
有形固定資産の売却による収入	3,610	7,360
無形固定資産の取得による支出	△18,424	△350
投資有価証券の取得による支出	△700	△717
関係会社貸付金の回収による収入	—	2,294
関係会社貸付けによる支出	△84,785	△28,000
その他	△140	△36
投資活動によるキャッシュ・フロー	△104,410	△153,715
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△94,000	249,000
配当金の支払額	△46,037	△76,548
リース債務の返済による支出	△560	△560
財務活動によるキャッシュ・フロー	△140,598	171,891
現金及び現金同等物に係る換算差額	△27	1,585
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	47,035	256,950
現金及び現金同等物の期首残高	2,288,226	2,566,511
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,335,261	2,823,461

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。